

青山学院大学 教育人間科学部 創立10周年記念シンポジウム  
「リーディングのこれから」パネルディスカッション

# 社会人のリーディング・マインド mind reading (読心術)ではなく

Key words : society people, reading mind, crystallized intelligence

2019年3月16日(土)14時40分～17時  
青山学院大学渋谷キャンパス 本多記念国際会議場(17号館6階)

国立国語研究所 言語変化研究領域  
横山詔一(よこやま・しょういち)

このスライドのPDFは研究者情報サイト「[researchmap](#)」で公開しています  
(1)「よこやましょういち 研究者」でGoogle検索し、「researchmap」に  
(2)「最近のエントリー」からダウンロード

## 自問自答してみました

「学生時代のリーディングと、社会人になってからのリーディングでは、なにか違いはあるのだろうか？」

「自分のためのリーディングから、他者のためのリーディングに変化したような気がするけど、はっきりとは分からないなあ」

「これは、とても難しい。困ったなあ、別のテーマにしようか・・・」

「そうだ、いいことを思いついた。文豪のリーディング・マインドは、どのようになっているのだろうか。ちょっと、調べてみよう」

➤ 横山が**思考に使う内言 (inner speech)**は**愛媛方言 (伊予弁)**であることが多い

「学生時代のリーディングと、社会人になってからのリーディングでは、**なんか**違いはある**んじゃろか**？」

「自分のためのリーディングから、他者のためのリーディングに変化したような気がする**んじゃけど、ようわからん**」

「**こりゃ、よいよ、あずるわ。わやじゃ**、別のテーマにしようか**のお**」

「**ほうじゃ、ええこと**思いついた。文豪のリーディング・マインド**ちゅうのは、どんなんかいのお**。ちょっと、調べてみよ**わい**」

# きょうの航海の羅針盤(ナビゲーター)はトルストイの言葉

学問のある人とは、本を読んで多くのことを知っている人である(現代的解釈:この「本」にはネット上のテキストなども含める)

教養のある人とは、その時代に最も広がっている知識やマナーをすっかり心得ている人である

そして有徳の人とは、自分の人生の意義を理解している人である

レフ・トルストイ(ロシアの小説家, 思想家, 1828~1910)

これからお話しする内容

1. リーディングの目的は?
2. お互いのために読み合う
3. リーディングの基礎にある知性: データサイエンスで探る
4. 蛇足: 人工知能とも、お互いのために読み合う

# 1. リーディングの目的は？



## 漱石先生

- 正岡子規や高浜虚子とよく遊んだ
- 漱石の句「鐘つけば銀杏ちるなり建長寺」
- 子規返句「柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺」
- 愛媛県人が敬愛してやまない先生
- 『坊ちゃん』で松山を「不浄の地」とけなしているが、愛媛県人はその真意を理解して微笑んでいる

- リーディングになにを求めますか？
- 入試現代文の問題を作った経験から
- 入試現代文に自分の文章が出題された経験から
- 入試現代文の社会性
- 学生のリーディングは「わたし(自己)」のため
- 社会人は「あなた(他者)」のためのリーディングができる

# リーディングになにを求めますか？

**Why?** なぜリーディングをするのですか

- 楽しむため：娯楽，エンターテインメント
  - 知的好奇心を満たすため：自己実現，学び
  - 癒しを得るため，苦悩からの解放，生きがいの探求，魂の救済のため：生老病死の哲学，人生相談（人間関係の悩み）
  - 競争場面での問題解決のため：ビジネスなど
- ✓ 私が人生でもっとも真剣にリーディングに取り組んだのは，**入学試験会場で現代文の問題を読んでいたときだったと思う**
- ✓ どのような文章が出題されたのか，まったく記憶には残っていないけど・・・
- ✓ 入試現代文について，すこし考えてみたい

## 入試現代文の問題を作った経験から

- 20年ほど前, ある全国規模の学校組織から国立国語研究所に入試国語問題の作成について協力の依頼があった
- 国語学者・日本語学者ではない横山が, なぜか所長の指名を受けて**問題作成作業(非公開)に公務で参加**
- その結果, 出題者の立場や心理がすこし見えるようになった

# 入試現代文に自分の文章が出題された経験から

- ある雑誌に書いた**自分の文章が**、2008年1月27日に、ある私立大学の入試現代文として**出題された**
- 入試現代文の「**正答とはなにか**」を考える機会に恵まれた
- 「著者の考えに最も近いものを次の4つの選択肢のなかから選べ」というような問題について
- **私が著者なのに**、どれが私の考えに最も近いのか**確信が持てない**場合があることを実際に体験
- 多くの書き手が同様の述懐をしている。丸谷(まるや)才一氏の「慶応大学法学部は試験をやり直せ」(新潮文庫『完本日本語ために』所収)など。最近では日本経済新聞2019年1月17日夕刊1面「あすへの話題」欄で経済学者の松井彰彦氏が同様の経験を述べている
- 出題者は「**著者の本当の考え**」を知る必要はないと思っていることがよくわかった【そもそも「**本当の考え**」は著者でも分からないのでは? : 相澤正夫氏(2019年1月31日の私信)】

# 入試現代文の社会性

- 競争場面における「**ゲーム的読み**」の典型例  
多くの人が同じ時間に同じ文章を一斉に読み、正答を求める  
事後に(予備校などによる)正答例が広く社会に公開される。  
出題者グループになんらかの心理的影響があるだろう
- 正答とされるものは「**ある種の社会的規範**」
- つまり、真偽や正誤とは別次元の基準にしたがうことが多い
- その実例と説明は、清水義範氏の小説「国語入試問題必勝法」(講談社文庫所収)や入不二基義(いりふじ・もとよし)青山学院大学教授の『哲学の誤読—入試現代文で哲学する!』(ちくま新書)などに豊富に示されている
- 結局、「わたし(自己)」のためのリーディングである



---

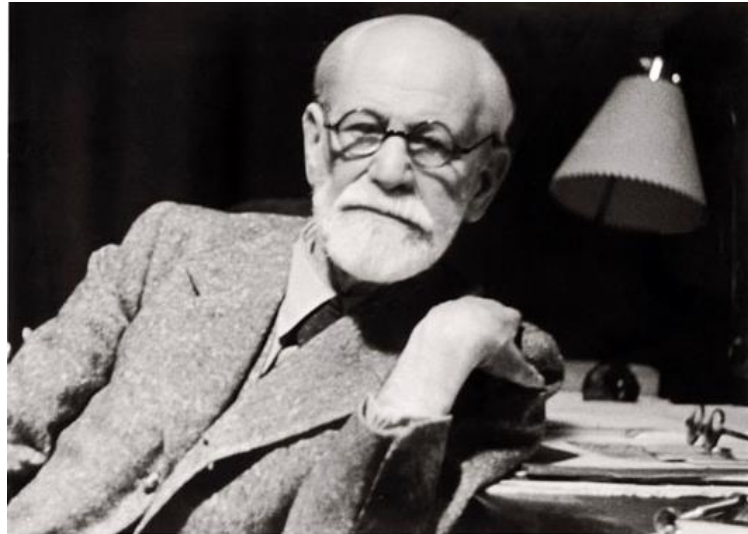
## 学生のリーディングは「わたし(自己)」のため: *For me*

- わたしが楽しむために
- わたしの知的好奇心を満たすために: わたしの自己実現, わたしの学び
- わたしが癒しを得るため, わたしが苦悩から解放されるため, わたしの生きがいの探求のため, わたしの魂の救済のために
- わたしのビジネスのために

社会人は「あなた(他者)」のためのリーディングができる: *For you* 人生を楽しく, 豊かにするため

- あなたに楽しんでもらうために: その典型例は, 子どもに絵本の読み聞かせをする, 目が不自由な人のために朗読をするなど
- あなたの知的好奇心を満たすために: あなたの自己実現, あなたの学びをサポートする
- あなたの癒しのため, あなたが苦悩から解放されるため, あなたの生きがいの探求のため, あなたの魂の救済のために
- あなたのビジネスのために

## 2. お互いのために読み合う



フロイト先生

- 心理言語学の授業の特徴:「読み合わせ」活動(合評会)をおこなう
- なぜ自己紹介文なのか?(1)取材が必要ないと思われるテーマだから
- なぜ自己紹介文なのか?(2)その振動刺激で記憶のふたがパカッとあいて、「人生の意義」を読み解く手掛かりが出てくるかも
- 他者を応援するための読みが, 自分のリーディング・マインドを鍛えてくれる
- 書評について

## 心理言語学の授業の特徴：「読み合わせ」活動(合評会)をおこなう

- 青山学院大学文学部の共通科目「心理言語学」を2003年から16年間にわたって担当(今年度で終了)
- その授業では心理学や社会言語学の学術的知見を紹介・解説する。条件が整えば、学期の終わりごろに以下の活動をおこなう
- 目標は、就活や将来の転職活動に使う自己紹介文を790字以上800字以内で書くこと(読み手は企業等の人事担当者を想定)
- 800字とする理由は(1)読み手にやさしく、書き手に厳しい長さを体験するため、(2)200字程度ごとに「小見出し」をつける訓練のため
- クラス全員で他の人の自己紹介文を読み、さらによい自己紹介文にするにはどうしたらよいかをコメントシートに書いてあげる
- これは peer reading あるいは peer learning の一つの形か

なぜ自己紹介文なのか？(1)取材が必要ないと思われるテーマだから

- 自分の人生における「出来事の記憶(エピソード記憶)」や自分の本当の履歴については、自分が世界で一番多くの情報を持っている(ただし、記憶の正確さや、それに対する解釈・理解の妥当性は別問題とする)
- よって、**あまり取材しなくても書けるテーマだと思われる**
- でも本当は取材が必要。**自分の人生に関する記憶には空白地帯がある**
- 「言語能力(結晶性知能:後述します)」や「意味記憶」がある程度発達しないと、検索可能なエピソード記憶を持つことが困難。自分自身の乳幼児期の出来事については親が持っている記憶・情報量に遠く及ばない
- **乳幼児期の記憶は言葉が持つ論理的コントロールの網の目をすり抜ける**

---

解説 エピソードには時間と場所という文脈がある(認知症になると欠落する部分)

- **エピソード記憶**: 出来事の記憶(いつ, どこで経験したことなのか大体分かる)
- **意味記憶**: 母語基本語彙の意味(いつ, どこで学んだのかまったく思い出せない)

なぜ自己紹介文なのか？(2)その振動刺激で記憶のふたがパカッとあいて、「人生の意義」を読み解く手掛かりが出てくるかも

学問のある人とは、本を読んで多くのことを知っている人である(現代的解釈:この「本」にはネット上のテキストなども含める)

教養のある人とは、その時代に最も広がっている知識やマナーをすっかり心得ている人である

そして有徳の人とは、自分の人生の意義を理解している人である

レフ・トルストイ(ロシアの小説家, 思想家, 1828~1910)

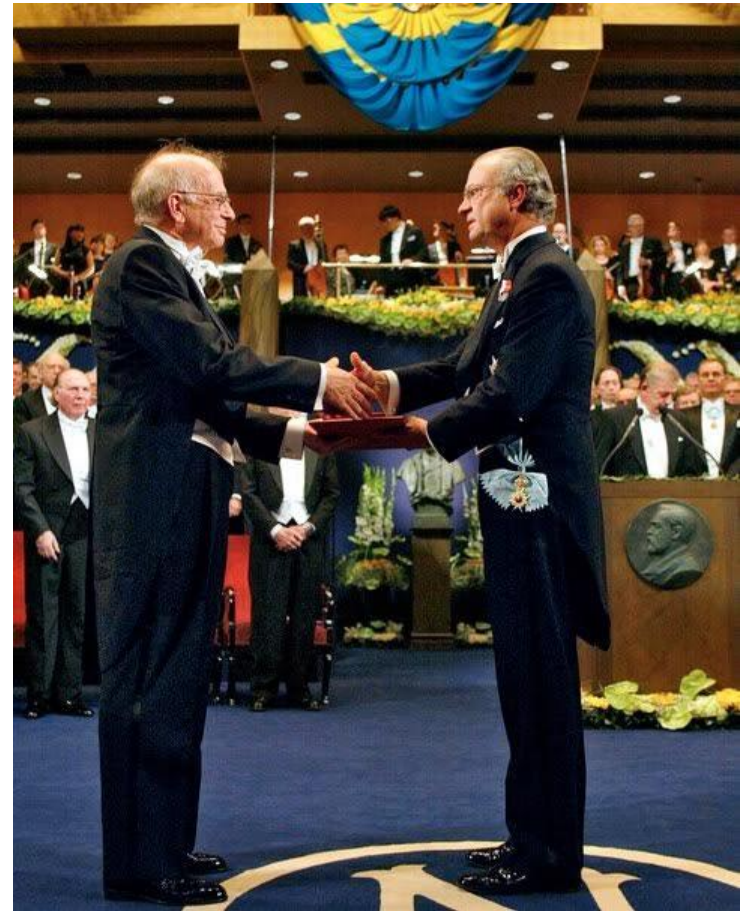
- 「自己紹介文を書く」という作業は、自分の人生の記憶をリーディングすることである。それによって「自分の人生の意義」を読み解いたり解釈したりすることが可能になる。また、自分の将来を読むことにも役立つ
- 他の人が書いた自己紹介文をいくつも目にする機会は希少なので、貴重な経験となる。特に青山学院大学に来ている留学生の自己紹介文のレベルの高さに日本人学生は刺激を受ける

他者を応援するための読みが、自分のリーディング・マインドを鍛えてくれる → **心を読む(マインド・リーディング)能力も向上**

- お互いのために読み合うことで、学生は「読んであげること」と「読んでもらうこと」が繋がっていることを実感し、**読み手と書き手の両者の立場・心理を理解する契機**となる
- リーディングとプロダクションは連続線の上にある
- その結果、**批判的読み**とは他者の文章を批判するものではなく、**自分を見つめなおし、他者を応援するためのもの**であることに気づく
- そのことを私が明確に意識したのは50歳を過ぎてから
- きっかけは、月刊『日本語学』(明治書院刊)の書評欄「新刊・寸感」に半年ごとに書評を書くようになったこと(1997年2月から現在まで21年間継続、紹介した本は累積で約100冊)

# 書評について

- 書評する本の選択は日本経済新聞などの書評欄を参考にすることがよくある
- 最近取り上げた本は、『医療現場の**行動経済学**: すれ違う医者と患者』, 大竹文雄・平井啓(編著), 東洋経済新報社
- 当然のことだが, 新聞や雑誌に紹介されている書評とは重ならないように気をつける
- 誰も(著者も)が気づいていない良いところ・長所を発見し, 称賛する
- 著者が本の中で一言も明記していないけれども, 読者に伝えたいと思っているポイントを著者に代わって広く紹介する



認知心理学者のKahneman先生  
**行動経済学**を開拓した業績により  
2002年にノーベル経済学賞を受賞



### 3. リーディングの基礎にある知性: データサイエンスで探る



ガウス先生

- 作家の重松清さんから聞いた話(スライドなし)
- 結晶性知能は, いつまで, どのように発達・成長するのか?
- アバディーン調査
- 言語の生涯習得モデル
- 言語変化のS字カーブ説
- まとめにかえて

## 結晶性知能は、いつまで、どのように発達・成長するのか？

- 知能の生涯発達に関する海外の経年調査
  1. シアトル調査(1956年から2005年まで7年間隔で8回実施, 延べ約6,000名を調査, トレンド調査とパネル調査): **結晶性知能のピークは65歳前後で, 80歳を過ぎても維持される。**それに対して, 流動性知能は25歳前後がピークで, それ以後は急速に減退
  2. アバディーン調査(1998年): 同一人物を66年後に追跡調査
- 言語生活に関する国内の経年調査
  1. 愛知県岡崎市の敬語調査(1953年から2008年まで3回実施, 延べ約1,500名を調査, トレンド調査とパネル調査): **敬語の成人後採用**(Age grading 現象の一つ)に関する実証データを提供。敬語使用のスキルは成人後も加齢とともに向上する
  2. 山形県鶴岡市の共通語化調査(1950年から2011年まで約20年間隔で4回実施, 延べ約3,000名を調査, トレンド調査とパネル調査): 成人後(臨界期以降)も共通語の習得が続く場合がある

- 
- ◆ **結晶性知能**(crystallized intelligence)は言語性の知能
  - ◆ **流動的知能**(fluid intelligence)は暗記力や計算力などと関係がある
-

# アバディーン調査

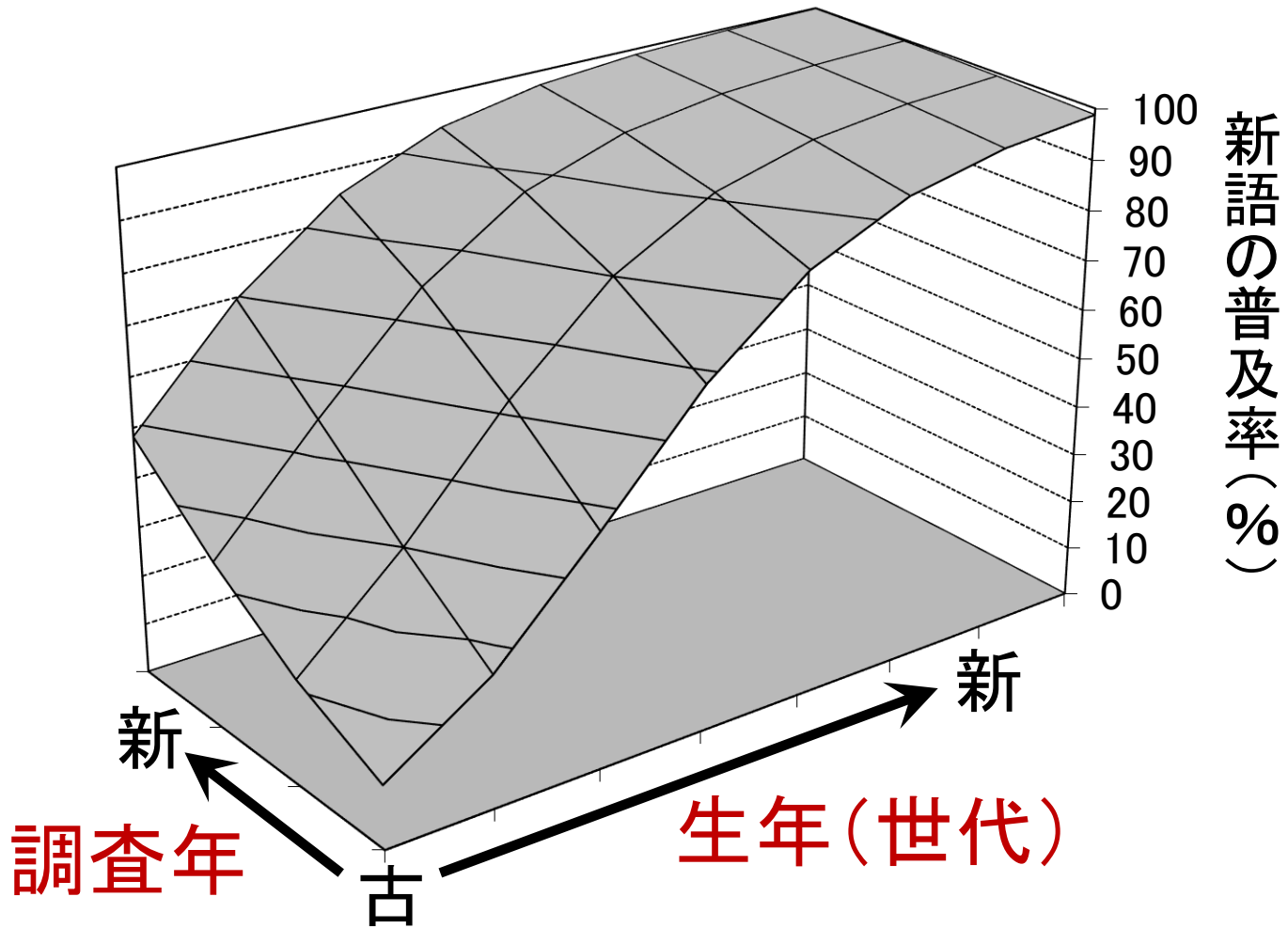


(Courtesy of Aberdeen Press and Journal)

- 1932年に11歳で「スコットランド知能検査1932」を受けた**87,498名**のうち**101名**が英国アバディーン市のミュージックホールに集合
- 1932年と同じ知能検査を**66年後**の1998年6月1日に実施
- その結果、ほとんどの参加者の成績が向上していた

# 言語変化のS字カーブ説

ロジスティック回帰分析や心理測定関数とも関係が深い



## まとめにかえて

---

宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、本には多くの宝が眠っている

そして、何よりも、宝を毎日味わうことができるのだ

ウォルト・ディズニー(1901～1966)

---

### 蛇足

- **人工知能(AI)**はネット、メール、スマホ、AIスピーカーなどを通じて収集された「**言葉のビッグデータ**」を**食べて急速に成長**している。「教養のある人」のレベルには予想以上に早い時期に到達しそうである。他者のために読むマインドも持つだろう
- 近い将来、**人工知能が読み合わせの仲間になる**。そのとき、リーディングと社会はどう変わっていくのだろうか？

## 参考文献

### ☆入試現代文に関して

清水義範「国語入試問題必勝法」『国語入試問題必勝法』講談社文庫(1990)所収, 1987年初出の「入試国語問題必勝法」を改題

丸谷才一「慶応大学法学部は試験をやり直せ」『完本日本語のために』新潮文庫(2011)所収, 初出を横山が調査すれども現時点では不明

### ☆潜在記憶(欧米の研究でなぜか日本語の漢字刺激がよく使用される)

Elliot. R., & Dolan. R. (1998) Neural Response during Preference and Memory Judgments for Subliminally Presented Stimuli: A Functional Neuroimaging Study. *The Journal of Neuroscience*, 18, 4697-4704

### ☆行動経済学

Daniel Kahneman & Amos Tversky (1979) Prospect Theory: An Analysis of Decision under Risk. *Econometrica*, 47(2), 263-292.

大竹文雄・平井 啓(編著)(2018)『医療現場の行動経済学: すれ違う医者と患者』, 東洋経済新報社

### ☆結晶性知能と流動性知能(シアトル縦断調査: Seattle Longitudinal Study)

Schaie, K. W., & Willis, S. L. (2001). *Adult development and aging*. 5th ed. New Jersey: Prentice Hall.【シャイア&ウィルス, 岡林秀樹(訳)(2006). 成人発達とエイジング第5版, ブレーン出版】

### ☆言語運用能力の生涯発達研究(鶴岡共通語化調査や岡崎敬語調査)

横山詔一・杉戸清樹・佐藤和之・米田正人・前田忠彦・阿部貴人(編)(2018)『社会言語科学の源流を追う』(シリーズ社会言語科学 2: 社会言語科学会刊行), ひつじ書房

現存する日本最初の**日本語学習読本**(室町時代の日本語発音がわかる)

- 天正遣欧少年使節とイエズス会宣教師がリスボンから持ち帰った**グーテンベルグ印刷機**により**1592年に天草で印刷**。なお、現存する日本最古の活版印刷の本は1591年刊行
- 当時の口語体の文章がポルトガル語式のローマ字で書かれている
- 『広辞苑』の編者としても有名な**新村出**が大英博物館で1921年に閲覧。その報告にもとづいて上田万年が1923年4月30日にパリのソルボンヌ大学で解説を録音。ちなみに、**心理学者の矢田部達郎**(YG性格検査を考案)が1921年6月8日にソルボンヌ大学で東京方言話者として日本語発音を録音。**録音音声はフランス国立図書館からネット公開**されている
- 大英図書館所蔵の天草版平家物語、イソップ物語などのカラー画像を国立国語研究所から公開 [https://dglb01.ninjal.ac.jp/BL\\_amakusa/](https://dglb01.ninjal.ac.jp/BL_amakusa/)



『日本のことばとHistoriaを  
習い知らんと欲する人の  
ために世話にやわらげた  
る平家の物語』